

3. 食物栄養学科

1 カリキュラムの概要

(1) 学科専門科目のカリキュラムの概要

食物栄養学科の学科専門科目のカリキュラムは、管理栄養士養成施設の指定基準に基づいて構成され、専門基礎分野と専門分野とから成り立っています。

専門基礎分野と専門分野は、それぞれ3つと8つの区分（教育内容）から成り立っています。

専門基礎分野の3つの区分は、「社会・環境と健康」・「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」・「食べ物と健康」です。

専門分野の8つの区分は、「基礎栄養学」・「応用栄養学」・「栄養教育論」・「臨床栄養学」・「公衆栄養学」・「給食経営管理論」・「総合演習」・「臨地実習」です。

「社会・環境と健康」では、人間や生活についての理解を深めるとともに、社会や環境と健康の関わりについて理解します。

「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」では、人体の構造や機能を系統的に理解し、主要疾患の成因、病態、診断、治療等についても理解します。

「食べ物と健康」では、食品の各種成分を理解し、食品の人体に対する栄養面や安全面等への影響や評価について理解します。

「基礎栄養学」では、栄養とは何か、その意義について理解します。

「応用栄養学」では、身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方を理解します。

「栄養教育論」では、健康・栄養状態・食行動・食環境等を総合的に評価・判定する能力を養い、実践的な健康・栄養教育の理論と方法を修得します。

「臨床栄養学」では、傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいた適切な栄養管理の方法について修得します。

「公衆栄養学」では、地域や職域等の健康・栄養問題を総合的に評価・判定する能力を養います。

「給食経営管理論」では、給食運営や関連の資源を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行う能力を養います。

「総合演習」では、専門分野を横断して、栄養評価や管理が行える総合的な能力を養います。

「臨地実習」では、学外の実践活動の場（病院、保健センター、福祉施設等の給食等）での課題発見、解決を通して専門的知識および技術の統合を図ります。

学科専門科目は、専門基礎分野から専門分野へと互いに関連づけながら、段階的に習得できるよう配置しています。そのため、一つひとつの科目をその都度確実に理解しながら、1年次から4年次へと進むように心掛けることが大切です。

(2) 大学共通科目について

外国語科目

外国語科目では、「Academic Communication I・II」各1単位が必修で、その他に4単位を修得する必要があります。

英語以外の言語としては、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語が開講されています。新たな外国語を履修する場合には、1年間4単位のみよりは、2年間8単位学ぶことが望ましいでしょう。

新たな外国語ではなく、英語をさらに学ぶことも有意義です。例えば、インターネットを使う際にも必要です。就職または進学先で、研究を目的とするほか、最新の情報を得るためにも必要です。なぜなら、英文の文献の方がよりたくさんの情報を得ることができるからです。

なお、本学科のカリキュラムは、1年次に「Academic Communication I・II」(必修)を履修し、2年次に「科学英語」(選択)で理系の英文を、3年後期には「卒業演習Ⅰ」(必修)を、4年次に「卒業演習Ⅱ」(必修)で英語論文を読む機会があり、4年間英語を学べるように組まれています。

教養科目

教養科目は、自分自身の興味や将来の目標に合わせて、主体的に選択することができます。教養科目を学ぶことは、多様な知識を自分自身の中に取り込むことにより、一つの学問分野の壁を越えて、幅広い視野で物事を判断したり意思決定したりするための基礎を身につけるために必要です。多様な生き方が可能な現代社会において、さまざまな他者を理解するためには、多様な知識に触れることを通じて自分自身を理解すること、そして多角的な視点から相手を見つめ、共感できるようになることが大切です。

このように、教養科目を学ぶことで、専門性をさまざまな角度から深め、応用することができますようになります。

(3) 学科専門科目の選択科目

学科専門科目の選択科目は、学科専門科目を学ぶための基礎科目と、将来の進路によって選択する科目があります。

「栄養士のための化学A・B」は、学科専門科目の、食品学・栄養学・生化学などに関する科目の基礎となります。高等学校の「化学」や「生物」と重複する部分もありますが、実験に必要な知識を学ぶ科目ですので、しっかり身につけておく必要があります。

「栄養統計学」は、公衆栄養学や栄養教育の評価など、その基礎に統計の知識が必要な科目のために、学んでおくとい良いでしょう。

3年次後期には「卒業演習Ⅰ」(必修)、4年次には「卒業演習Ⅱ」(必修)が開講されており、各人が一人の食物栄養学科専任教員を選び、その指導を受けます。このとき同時に「卒業研究」(選択)が開講されており、同時に選択することを強くお勧めします。

2 履修モデル

(1) 卒業＋管理栄養士国家試験受験資格取得のためには

	1年	2年	3年	4年
大学共通科目	キリスト教概論 必修2単位 女性とキャリアI 必修1単位			
	区分 選択必修			
	人間と宗教 選択必修2単位			
	国際理解			
	社会と文化 選択必修2単位			
	歴史・思想			
	自然・科学 選択必修2単位			
健康 選択必修2単位				
リテラシー 選択必修2単位				
外国語科目	Academic Communication I 必修1単位 Academic Communication II 必修1単位 選択必修：4単位以上			
学科専門科目	卒業必修：83単位 卒業必修を除く管理栄養士必修：8科目13単位 (資格必修科目については教育課程表の「資格 管理栄養士」欄を参照)			
選択科目	他学科専門科目、他学部学科専門科目、教員免許に関する科目（「指導法に関する科目等」）（指定科目*）、および協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）は、合わせて8単位まで選択単位として算入できる			

*97、98、206 ページ参照

※上記、科目を履修することにより、食品衛生監視員・食品衛生管理者任用資格も取得可能となる。

(2) 卒業＋管理栄養士国家試験受験資格＋栄養教諭一種免許取得のためには

	1年	2年	3年	4年
大学共通科目	キリスト教概論 必修2単位 女性とキャリアI 必修1単位			
	区分 選択必修			
	人間と宗教 選択必修2単位			
	国際理解			
	社会と文化 選択必修2単位			
	歴史・思想			
	自然・科学 選択必修2単位			
健康 選択必修2単位				
リテラシー 選択必修2単位				
外国語科目	Academic Communication I 必修1単位 Academic Communication II 必修1単位 選択必修：4単位以上			
学科専門科目	卒業必修：83単位 卒業必修を除く管理栄養士必修：8科目13単位 (資格必修科目については教育課程表の「資格 管理栄養士」欄を参照) 栄養に係る教育に関する科目：「学校栄養教育I」2単位、「学校栄養教育II」2単位			
教員免許に関する科目 (「指導法に関する科目等」)	24単位以上 (「教職課程履修要項」を参照)			

※上記、科目を履修することにより、食品衛生監視員・食品衛生管理者任用資格も取得可能となる。

(3) 卒業＋栄養士資格＋食品衛生監視員・食品衛生管理者任用資格取得のためには

	1年	2年	3年	4年													
大学共通科目	キリスト教概論 必修2単位 女性とキャリアI 必修1単位 <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>選択必修</td> </tr> <tr> <td>人間と宗教</td> <td>選択必修2単位</td> </tr> <tr> <td>国際理解</td> <td rowspan="3">選択必修2単位</td> </tr> <tr> <td>社会と文化</td> </tr> <tr> <td>歴史・思想</td> </tr> <tr> <td>自然・科学</td> <td>選択必修2単位</td> </tr> <tr> <td>健康</td> <td rowspan="2">選択必修2単位</td> </tr> <tr> <td>リテラシー</td> </tr> </table>	区分	選択必修	人間と宗教	選択必修2単位	国際理解	選択必修2単位	社会と文化	歴史・思想	自然・科学	選択必修2単位	健康	選択必修2単位	リテラシー			
区分	選択必修																
人間と宗教	選択必修2単位																
国際理解	選択必修2単位																
社会と文化																	
歴史・思想																	
自然・科学	選択必修2単位																
健康	選択必修2単位																
リテラシー																	
外国語科目	Academic Communication I 必修1単位 Academic Communication II 必修1単位 選択必修：4単位以上																
学科専門科目	卒業必修： 83 単位																
資格取得に必要な選択科目	教養科目（「自然と化学」）、学科専門科目（「栄養士のための化学A」、「栄養士のための化学B」）の中から1科目以上選択必修																
選択科目	共通選択科目・学科専門選択科目より15単位以上 （他学科専門科目、他学部学科専門科目、教員免許に関する科目（「指導法に関する科目等」）（科目指定*）、および協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）は、合わせて8単位まで選択単位の算入できる）																

*97、98、206 ページ参照